

第24回北勢線の魅力を探る 「星川の観音さんと五反田の大日さんに逢いたくて」

開催日：2015年3月29日（日）

参加者：102名

協力：五反田自治会長、大日堂、安渡寺、傳西寺

七和駅～整田之碑～八幡社～大日堂へ

雨が降る予想にもかかわらず、七和駅には多数の方々が参加してくださいました。駅から南へしばらく行き弁天川を渡ると石碑が建っている。「整田之碑」である。七和土地改良区では昭和51年（1976）から56年に行った農地の区画整理事業を行った。その完成記念碑である。



五反田八幡社

予報より早く降り出した小雨の中を五反田八幡社に向かった。この神社では地元の自治会長の田中實乗さんに説明を聞く。元はもっと南にあったが、員弁川の度重なる洪水により、正徳期(1711～13)のころに現在地へ移転された。この地は傳西寺があった場所である。現在の拝殿は明治20年（1887）、本殿は大正12年(1923)の建立である。さらに境内

の南側の小高い空き地は、傳西寺に安置されていた大日如来像をお祀りしていた大日堂が昭和45年(1970)まで建っていた場所である。

昭和45年に現在地に移った大日堂で、ご住職は「今日は昭和45年にこのお堂ができて以来一番多くの参詣者がお越し頂きまして…」と、前置きされてお話しを始められた。毎年9月8日に盛大な夜祭りが行われ、この日のみ開帳されているが、今回、特別に開帳して頂き、参拝することができた。この大日如来は五反田の人たちから「雷よけの仏」と尊崇されている。



大日堂

安渡寺～傳西寺

相変わらず止まない雨の中を安渡寺の本堂へ向かう石段を上った。安渡寺は星川山多門院と号す真言宗のお寺で、伊勢西国33所観音の30番、桑名観音巡り33箇所霊場の28番札所になっている。鎌倉時代の藤原実重の「作善日記」にも「星川の観音堂」として記されている。



秘仏聖観音菩薩

御本尊の聖観音菩薩は平安時代中期の作とされ、昭和33年(1958)に市の文化財に指定された。秘仏で普段は厨子の中に入れており、今回は17年ぶりの御開扉に出会うことができた。本堂は朱塗りの鉄筋コンクリート造りで昭和38年の改築だ。格天井の区画には四季の花が彩り豊かに描かれている。今日は御本尊の開扉で午後には稚児行列も行われるとあって、境内にはテントが張られ、お寺の関係者が大勢



安渡寺

待機しておられた。このお寺の所在する星川は大変歴史の古いところで、平安時代末期には「星川市庭（いちば）」という物資交換の市場があり、員弁川に港もあったといわれる。

今日の稚児行列の出発地である傳西寺への沿道には五色に染め抜いた真新しい仏旗が折からの雨に濡れていた。現住職は 19 世佐々木恵精。本堂には素晴らしい天女の描画や一刀彫の阿弥陀仏が寄進されている。大正 14 年(1925)鑄造の梵鐘は、戦後四日市石原産業に乳頭が取れた状態で残っているのを村人が見つけ荷車で運んだ。雨が激しくなると、北勢線星川駅に近いので、ここで解散とした。



藤が丘デザイン公園から山嘉（やまよし）のみち～山神社

解散後は有志のみ約 30 人が藤が丘小学校の体育館の軒先を借りてお弁当を食べた。藤が丘デザイン公園も雨でゆっくり見ずに団地の中をモクモクと歩く。このあたりの住宅は比較的新しく、モダンな家並みが続く。行き止まりになった団地の端から下の地道に降りられる階段が L 字に取り付けられている。この階段は団地の宅地造成によって失われた元々あった地道とを繋ぐ、ジョイントの役目をしているのだろう。数日前までは、草が生い茂ってとても歩けない状態であったので、事前に 5、6 人で草刈りを行ったところ、たまたま居合わせた近所の人たちに感謝された。この階段を降りて、竹林や雑木に囲まれたゆるやかに曲がった地道を歩く。この長さ 300m 程の小道を「山嘉(やまよし)のみち」と勝手に名付けている。



山嘉のみちから車道に出たところに武藤牧場という牛舎があり、肉牛を飼育している。近くに直売の精肉店「山嘉(やまよし)」がある。昭和 30 年代に先代がこの地で創業。肉牛を育てていた先代の遺志を受け継ぎ、精肉店「山嘉」を平成 8 年(1991)にオープンしたのだ。



国道 421 号のトンネルをくぐり、蓮花寺川に沿って神田池の堤を歩き、暫くすると小さな祠が目に入る。地元では山神社（下の宮さん）といい、祭神は大山祇命である。山の神は春には山から里に下って、田の神となり、秋の収穫がすむと、また山に帰るといわれる。最終ゴールの蓮花寺駅は平成 20 年(2008)に在良小学校体育館の前から、130m 西に移転・新設され、すっきりとしたモダンな駅舎である。駅前広場は在良市民センター駐車場を拡充して整備し、駅をはさんで南北に利用者用駐車場を 31 台分を確保している。

